

理工学研究科

教育プログラムの名称：電子情報工学専攻

授与する学位の名称：博士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（電子情報工学専攻・博士後期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「博士」の学位を授与します。

1. 電子情報工学分野に関わる深い知識を身に付け、電子情報工学の先端的分野に自在に応用できる能力を身に付けている。
2. 電子情報工学を基盤とするシステムの機能実現に関わるシステム工学などの関連技術分野に関する幅広い知識を身に付けている。
3. 科学技術の発展と多様化に対応できる論理的な思考力と記述力、発表と討議の能力、及び国際的な情報収集能力を身に付けている。
4. 学術的、技術的問題を字ら捉えてその意味を深く理解し、調査分析や定式化・モデル化を行い、実験・計算等を通じて仮説を検証する能力を身に付けている。
5. 習得した知識と技能を自在に応用できる能力を身に付けている。
6. 新しい対応が求められる電子情報工学の課題を定式化・モデル化し、実験・計算等を通じて仮説を検証する能力を身に付けている。
7. 革新的な方法を問題解決に適用し、自ら創造性を充分発揮できる能力を身に付けている。
8. 考察、検証及び議論を通して多元的に電子情報工学に関する研究を進め、工学の発展に寄与する学位論文を執筆できる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、電子情報工学専攻（博士後期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 電子情報工学の基礎から先端分野に及ぶ体系的な授業科目を配置する。
2. 学位取得後に社会で学生の能力が発揮できるよう、応用力を養う授業科目を配置する。

3. 産業の現場、各種研究施設又は他専門分野の研究室において、工学に対する視野を広め、問題提起・解決能力を養う授業科目を配置する。
4. 専門的かつ多面的な考察を通して電子情報工学分野に関する論文を執筆できるべく、適切な助言・指導を行う。